

授業概要

～親しめる韓国語～

韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象とし、韓国語の多様な表現（語彙・接続語尾の活用）とともにワンランク上の読解力と文章表現力の向上を目指す。日常的な生活場面だけでなく、文化・文学・社会・政治・経済などにも多く触れ、今の韓国社会について幅広く知り、韓国人と韓国語で意見交換ができることを目的とする。授業は、学生のレベルに合わせ、これまで学んだ基礎文法事項をも踏まえながら、毎回のテーマについて意見を交換し合う。

授業計画

第1回	授業の進め方、評価法の概略、中級の復習	
第2回	あらゆる場面での挨拶	
第3回	地理的位置・気候・地形―「自国を紹介する」	*リスニング・文化体験①（30分）
第4回	韓国の衣食住文化	*リスニング・文化体験②（30分）
第5回	韓国人の美学とは？―「美術・外見と性格」	*リスニング・文化体験③（30分）
第6回	伝統音楽・現代「K-POP」の人気	*リスニング・文化体験④（30分）
第7回	学校生活―「韓国の大学生と入試競争」	*リスニング・文化体験⑤（30分）
第8回	最新ニュース―「韓国の今を知る」	*リスニング・文化体験⑥（30分）
第9回	冠婚葬祭	*リスニング・文化体験⑦（30分）
第10回	韓国文学―「詩・エッセイを書いてみる」	*リスニング・文化体験⑧（30分）
第11回	政治と経済	*リスニング・文化体験⑨（30分）
第12回	文化遺産「記録文化」	*リスニング・文化体験⑩（30分）
第13回	道・観光地案内	
第14回	歴史・映画①「南北分断の背景」	
第15回	歴史・映画②「朝鮮戦争以降の国家体制について」・まとめ	
第16回	試験	

到達目標

1. 韓国語の長文を読んで理解し、韓国語で自分の意見が言えるようになる。
2. 映画やドラマ、音楽などの韓国語が大いに理解できるようになる。
3. 韓国社会についての理解を深めるとともに自国の文化をも知る。

履修上の注意

1. 外国語の授業なので、グループで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. 「韓国語Ⅰ・Ⅱ」の履修者が望ましい。
3. 履修した場合は、韓国語能力試験2～4級が受けられるレベルになる。

予習復習

1. 予習は、毎回、提示されるテキストを読んで、単語を調べてくること。
2. 復習は、毎回、提示される課題をやってくること。

評価方法

平常点（50点―授業の参加度・小テスト・課題・会話演習・発表）、試験（50点）を予定している。

テキスト

テキストは使用せず、ビデオ教材など、学生のレベルに合わせたプリント教材（韓国語で書かれた多様な分野のプリント教材）を配布する。